

日本一の山「富士山」と和泉市の山「槇尾山」の
どちらも登って調べてみました。

和泉市立北池田中学校

2年 佐藤 羽宮

1. 研究の動機

僕は小学校の時からお父さんに「富士山に行きたい。」と言っていました。しかし、僕とお父さんの予定がなかなか合わず、富士山には行けていませんでした。でも今年はお父さんが仕事の休みを取ってくれて、富士山に行けることになりました。そして、せっかく富士山に行くなら富士山や他の山について調べてみて、それらを比較して自由研究にしようと思い、この自由研究を作りました。



2. 実験観察の方法

今回は、実際に登りながら富士山なら〇合目、槇尾山ならチェックポイントで、日時・気温・湿度・天気・雲の位置・息のしやすさ・体感温度・ふもとで買ったポテトチップスの膨らみ具合・石の特徴・森の有無の10項目を調べた。

3. 結果

気温や湿度の変わり方は富士山と槇尾山で、異なる動きをしていた。また、他の観点で見ても同じく、例えば森林限界の有無や、石の特徴などが異なっていた。

4. まとめ

日本一の山 富士山と和泉市の山 槇尾山を登って気づいたことは、同じ山だったとしても、全く違うものなのだなと思いました。富士山は標高が高く高山病の危険があるので、ゆっくりと登る登山でした。また実際に登っているとき、最初の頃の僕まだ元気だったので、もっとどんどん登りたいなと思っていました。しかし、高度が上がるにつれどんどん息がしづらくなって頭も少しずつ痛くなってきてゆっくり登ることにちゃんと意味があるのだなと思いました。槇尾山は600メートルと標高が低いので、気楽な気持ちでいきました。しかし実際登ってみると駐車場を出たところから急な登りが続いて、一気に汗が吹き出しました。登って降りてくるのは2時間半くらいでしたが、とても疲れました。2つの山を登ってみて、同じ山といってもそれぞれに特徴があり、様々な登り方があるのだなと思いました。



